

穂豊帆 21

第214号

[hohoho 21]

山形市農業委員会

〒990-8540

山形市旅籠町二丁目3番25号

TEL 023-641-1212 (内線773)



～地域探訪～ 大郷地区



有限会社中野商会では50年程前から、「だいだい（橙）」を使用する「しめ飾り」を毎年11～12月に集中して作っています。県内のスーパー・ホームセンター等をはじめ同業者の減少とともに岩手・宮城・福島・北海道へ納品しています。それぞれの地域の異なる様式に対応することが求められています。

お正月とは、我々農耕民族が新しい年の五穀豊穡と家族の幸せを願う農耕儀礼でした。「しめ飾り」は年神様を迎えるための物であり、日本の伝統文化として絶えないことを願います。



中野城は、中世における山形城の支城として、山形城主三代最上満直の次男満基が、応永年間に築城した平城です。本丸、二の丸を含めると171,500㎡で南西部には外堀を構築し、東北部には寺院を配置していました。

中野の地は、戦略上、経済上のみならず、水・陸の交通上からも重要な地点でした。



● 農業委員会の活動報告

- * 年頭のご挨拶 2 P
- * 山形県農業委員会大会 2 P
- * 現地視察研修会報告 3 P
- * 令和3年度食農交流事業 4～5 P
- * 農地利用最適化推進委員研修 6 P

● 地域情報

- * みんなの広場（大曾根地区 平田 夏季さん） 3 P

● お知らせ

- * 農業者年金受給者の手続きについて 6 P
- * 許可等日程のお知らせ 6 P

年頭のご挨拶

山形市農業委員会会長 大築 義雅

あけましておめでとうございます。農業者の皆様や関係機関の皆様には、すこやかに令和4年の新春を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。また、皆様には、日々の営農や地域農業の振興において、日頃より多大なるご尽力に、心より敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、過去最悪といえる凍霜害により果樹を中心とする農作物に大きな被害が生じました。併せて、新型コロナウイルス感染症の影響による米価の大幅な下落や原油価格の高騰は、これまでに経験したことのないものであり、影響を受けた皆様におかれましては、大変ご心労が多かったこととお察し申し上げます。山形市農業委員会におきましても引き続き事態が好転しますよう政策提言を行っていく所存です。

さて、近年「持続可能な農業の実現（SDGｓ）」が叫ばれております。世界的にみれば、気候変動や異常気象に起因した食料危機や飢餓が深刻です。日本におきましては、有機農業の拡大、化学農業

肥料の削減など環境にやさしい農業の推進が求められております。しかし、日本の農業を持続可能にするためには、農業をおこなう農家や農業法人のような経営体、それを営む農村など活性化することが最も重要な事と言えます。農地を通じた人づくりが進まなければ、その流れは途切れてしまうのです。今後とも山形市農業委員会は、皆様と共に持続可能な農業の実現に向けた活動などを進めて参りますので、委員会活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年の干支は「寅」。寅年は「春が来て草木が伸び始め成長を表す」と言われています。また、「寅」の文字は「蟻（ミミズ）」に通じているとも言われます。豊穰を助けるミミズは土の中で動き、芽吹きを促します。微力ではありますが、山形市農業委員会が「蟻」のごとく地域農業の課題解決に尽力することを念頭におき、新年の挨拶とさせていただきます。

今年度の干支は「寅」。寅年は「春が来て草木が伸び始め成長を表す」と言われています。また、「寅」の文字は「蟻（ミミズ）」に通じているとも言われます。豊穰を助けるミミズは土の中で動き、芽吹きを促します。微力ではありますが、山形市農業委員会が「蟻」のごとく地域農業の課題解決に尽力することを念頭におき、新年の挨拶とさせていただきます。



山形県農業委員会大会

山形県農業委員会大会が11月12日、酒田市の希望ホールで開かれ、県内各市町村の農業委員と農地利用最適化推進委員計500名（山形市20名）が出席しました。全国農業会議所事務局長稲垣照哉氏の、「農業委員会を巡る情勢と「新たな農地利用の最適化」について」の報告を聴講しました。情報通信技術（ICT）やデジタル化の普及に加え、男女共同参画など、



表彰を受ける大築会長

近年の社会情勢の変化を農業・農村政策にも反映させる必要があるとして、「新たな時代の農業・農村の活性化に向けた政策提案に関する決議」など4議案を採択しました。

具体的には、担い手への農地集積・集約化支援対策の条件不利地の支援措置の強化や、担い手支援や農地中間管理機構との連携強化、農業者年金の加入促進等が盛り込まれました。農地の相続放棄問題等の質問がされ、県内各地で同じような課題があり、活発な意見交換が行われ実のある大会となりました。

席上、山形県農業会議会長表彰を山形市農業委員会会長 大築義雅氏が受賞しました。

（農業委員 會田 典男）

現地視察 研修会報告



10月18日に(仮称)山形北インター産業団地予定地と、高瀬地区切畑地内の鳥獣用侵入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)設置地において現地研修会が開催されました。

産業団地予定地について、市雇用創出課職員により第一期整備区域約22haの事業経過、実施スキーム、今後のスケジュール等の説明を受けました。若者が地元に着するためには、優良企業の誘致が必要不可欠になっています。交通網の利便性を活かし、新規雇用につながる優遇制度等も検討しながら、令和8年度からの分譲開始を目指しているとのことです。

鳥獣用侵入防止柵設置について、鍮水農業委員より平成28年からの事業内容(総延長16km)や設置場所の選定、設置の際の注意点、効果的な設置方法及び適切な維持管理等の説明がありました。イノシシによる農作物被害の拡大が問題になっていましたが、高瀬地区において設置した区域では100%被害が無くなったばかりでなく、遊休農地を再生させて新規就農に結び付いていることが

報告されています。この取り組みは楯山地区にも広がっています。

今後も少子高齢化が進むと予想される中、今回の2カ所の現地に共通することは、持続可能な未来を築くため、地域との合意形成を最優先に取り組んできたこと、地域を守るため、現状を何とか変えなければならぬという当事者意識の高さだと思います。その熱量が今後とも各関係団体と課題の共有に繋がり、産業の発展、生活環境の充実に貢献していくことになると思います。

(農業委員 森田 誠一)



(仮称)山形北インター産業団地予定地での現地研修

みんなの広場

私の人生アトリエ「糸好日」

大曾根地区 平田 夏季さん



「何て素敵な景色でしょう」早朝、東の方には蔵王・神室峰が淡いピンク色に染まります。私たち夫婦は横須賀から令和2年10月この大曾根地区上反田、山の中腹に移住してきました。

私の仕事はフリーレースの作成・販売です。作者名は「不臣、Ishikawa」糸と糸を縫い合わせていくという、ほかにはない技法で優しくも存在感のある作品を作ることでも気に入っています。学生時代ファッションデザインコースを専攻した関係から、生活雑貨や日用品のデザイン、暮らしにつながる作品を作るのが夢でした。フリーレース作家として自分が作りたいものを創作するようになった今でも、軸にあるのは「暮らし」の中にある何気ない空間です。

1年が経過しましたが、新鮮な驚きの連続です。自宅の周辺にはアケビ畑があり、初めてアケビの花、柵にたわわに実っているアケビを見ました。とても感動的でした。また、自宅に通じる道路わきには花木栽培している農業者がいて、高齢でもしっかりと管理している様には自分も頑張らなくてはと励まされます。でも山形の雪にはすっかり手を焼いています。冬道の運転は今でも怖くて慣れません。

昨年はコロナ禍の影響ですっかり予定が狂ってしまいました。自分の作品の展示会もできませんでしたし、大曾根地区の皆さんと一緒に地域活動もできない状況でした。まして、私たちの結婚式もできないままです。そんな中、唯一癒されるのは暮らし始めた3匹の猫たちです。(先日「石合光昭の世界ネコ歩き『山形』」にも出演しました)今年是非自宅で展示会を開催したいと考えています。まだ、友人知人が少ないですが、多くの方と仲良くなつて展示会を成功したいと考えています。夫も色々力を貸してくれます。二人で仲良く、元気に明るくやっていきたいと思っています。是非アトリエ「糸好日」にお越しください。そして地域の皆さんこれからもよろしく願います。

(注:冬期間は積雪のためアトリエの解放は致しませんのでご了承願います)



令和3年度 食農交流事業の活動報告

第1ブロック

旧市、飯塚、榎沢、滝山、東沢、南沼原

10月24日に、山形まるごと館・紅の蔵とのタイアップで秋祭りを開催できた。昨年度の経験を活かし計画を進めた。何より紅の蔵のスタッフとは5年連続のお付き合いであり、これまでの信頼関係を継続させたかった。

穏やかな天候に恵まれた秋祭り当日は、検温・消毒・連絡先の記入はもちろんの事、ゲームやアンケートは中庭、農産物販売は東門外の駐車場と、完全に人流を分けて密防止に努めた。コロナ非常事態宣言解除後、行楽地へ遠出する人々が増えたからなのか、来場者の出足は鈍く、道向かいのJA直売所の来店者も少なかった。

そんな先行き不安なスタートだったが、時間の経過と共に心配は杞憂に終わった。昼過ぎには用意した農産物は完売、150名余のアンケート返礼品(雪若丸2合)も全てなくなった。特に旬の果物や新米がもれなく当たるゲーム(先着定員20名限定で3回実施)は大盛況だった。大築会長の御礼(豆知識あり)挨拶や川村委員の軽妙な司会進行のもと、次々と「リーチ!」「ビンゴ!!」の嬉しそうな歓声が広がった。(今年もシャインマスカット人気は絶大だった)

アンケート結果によると、農業に対するイメージは「力仕事で大変」「安定的な収入が得られない」等と、大多数の人々は未だネガティブに捉えているようだ。半面、これからの山形の農業を「若者たちに期待する」声も多かった。一人でも多くの新規就農者が増え、自立定着できるよう微力ながら支援していきたい。

(農業委員 推名 俊明)

農業に関するアンケート結果

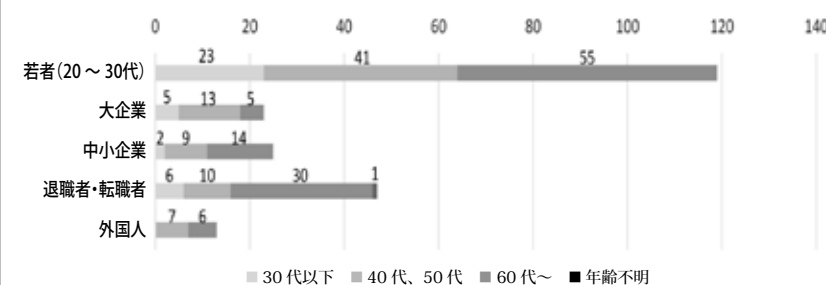
Q1 農業に対するイメージを教えてください。(複数回答可)



【その他の回答】

- * みんなに役立つそう。
- * 一生懸命に働いている人達はすばらしいと思います。
- * 生活にかかせない、生活をささえてくれる大事な職業
- * 気候に左右される場合が多い。
- * 天候に左右されるから大変。
- * 自然を相手に大変ですが、やりがいのある職業だと思います。
- * 自分たちの生活に欠かせない農産物を生産して下さる、感謝しています。
- * 大家族が維持できる。
- * 最近新しい取り組みをされていてワクワクしています。
- * 若い人も少しずつ興味を持つ人も増えている。
- * これからは自作の時代が来ると思う。

Q2 今後、どのような方に山形の農業にかかわってほしいですか？(複数回答可)



Q3 遊休農地の有効な活用方法は何かと思いますか？(複数回答可)



【その他の回答】

- * ぶどう
- * オーナー制(収穫体験などがある)農家の人が手入れをしてくれて、採れたものを貰える制度。
- * 都会の人たちに貸し出して収穫した農作物を食べてもらう。
- * 芝生にして子供たちの公園にしたい。
- * 元の地主に返還する。
- * 集約して効率的な作付けをする。
- * 株式会社化して組織で運営する。
- * 輸入作物を国内で作る。

第2ブロック

大曾根、西山形、村木沢

「未来の子供へ食の大切さを伝える」

今年度も新型コロナウイルス禍の影響で3地区の小学生を対象に農業体験学習を実施することができず、11月24日に地元産の農産物を食べてもらうためにプレゼントしました。地元産のりんごは常明寺、高橋権太郎氏より、里芋は村木沢あじさい営農組合の悪戸芋です。

昨年は新型コロナウイルスの影響で消費も進まず米価も大きく下落したため、お米に関するアンケートを実施しました。家庭における米と食に対する意識はどうか、ごはんと一緒に食べるおかずは何が人気なのか。ちよつと家庭の内をのぞかせてもらうこととしました。アンケート回収時、先生方からは「りんごと里芋すごくおいしかったです。」と生の声を聞いて大変うれしく思いました。

古代より培われてきた米文化、子供たちの「ごはんおかわり」と大きな声がひびく家庭。今後も米生産者が安心で安全なうまい米を作らなければいけないと改めて感じました。

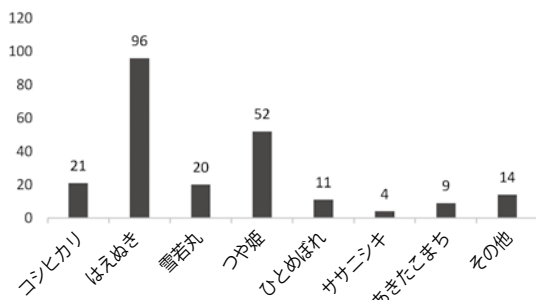
アンケート結果によると、さすがに本県産のはえぬき、つや姫は最強ですが、朝食はパンを食している家庭が多くなっています。小学生がほとんど一緒に食べたいおかずは、カレー、焼き肉と知り、昔も今も変わらない結果に微笑ましさを感じました。

(農業委員 阿部 芳徳)

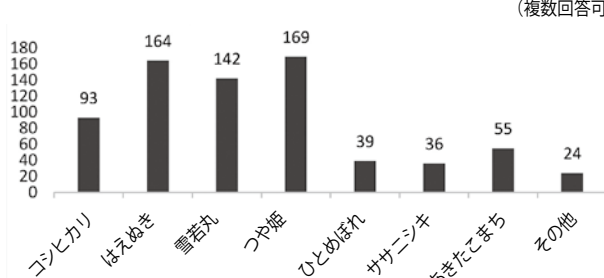


お米に関するアンケート結果

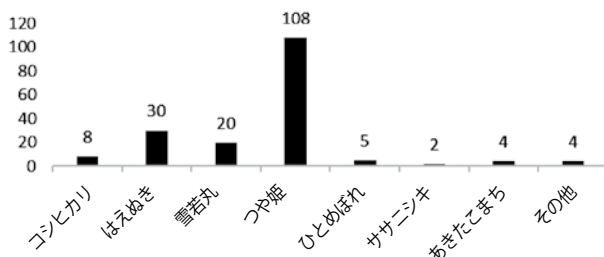
Q1 今、自宅で食べているお米の品種は何ですか？



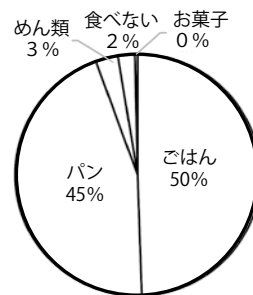
Q2 食べたことのあるお米の品種を教えてください。(複数回答可)



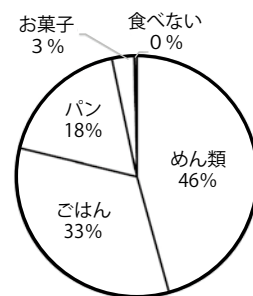
Q3 一番おいしいと感じたお米は何ですか？



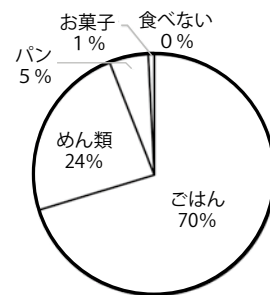
Q4-1 学校が休みの時、朝食は次のうち何を主食として食べますか？



Q4-2 学校が休みの時、昼食は次のうち何を主食として食べますか？



Q4-3 学校が休みの時、夕食は次のうち何を主食として食べますか？



Q5 ごはんと一緒に食べたいおかず3品選んでください。

第1位	カレー	112票
第2位	焼肉	86票
第3位	刺身	54票
第4位	納豆	50票
第5位	味噌汁	41票
第6位	海苔	36票

農地利用最適化 推進委員研修

11月26日に農地利用最適化推進委員研修会が市役所で開催されました。推進委員の役割、地域での農地に関する相談等への対応などについて研修しました。

農業委員と連携しながら地域での話し合い「農地パトロール」「人・農地プランの話し合い」「担い手への農地の集積・集約化の推進」「地区別農政懇談会」への参加はもちろん、個別に「経営拡大」「農地の売買や貸借」「耕作が困難」などの相談対応の仕方について学びました。



各ブロックからの報告では、遊休農地の解消、有害鳥獣被害、後継者不足などがあげられ、全体の共通課題であることを認識しました。新規就農者を増やすためには、作物の値段が安定して生活ができるようになることです。そうすれば若い人達もやる気を起こし自給率も高くなっていくのではないのでしょうか。

(農地利用最適化推進委員
出羽地区 鈴木 徳一)

農業者年金受給者の 手続きについて

経営移譲年金が支給停止となる場合

- ① 受給者が農業経営を再開したとき
- ② 農地所有適格法人の構成員（組合員、社員又は株主）になったとき
- ③ 後継者に貸し付けられた農地等が一部でも返還されたとき（支給停止除外事由に該当する場合を除く）
- ④ 後継者に貸し付けられた農地等が一部でも後継者以外の者に、使用収益権の移転又は設定（転貸）がされたとき（支給停止除外事由に該当する場合を除く）

この場合、支給停止事由該当届を最寄りのJAに提出してください。経営移譲年金受給者が、農地の権利移動、転用や売買等をお考えの場合、支給停止に該当するかどうか、農業委員会事務局にて、特処農地等の確認をお願いします。

経営移譲年金受給者で特処農地等について次の手続きがあった場合、支給停止除外事由に該当します。

- ・ 農地利用集積を行った場合
- ・ 土地収用法その他の特定の法律に基づき収用された場合 …等

手続きは、農業委員会事務局にてご確認ください。

(内線774)

令和4年度 山形市農業委員会 許可等日程

許可月	3条・4条・5条等の受付期間	総会開催日
4月	3月22日(火)～25日(金)	4月13日(水)
5月	4月20日(水)～25日(月)	5月13日(金)
6月	5月20日(金)～25日(水)	6月13日(月)



※農地法3条（農地に係る権利移動）、4条・5条（農地の転用）等の許可を受けるためには、上記の受付期間中に申請し、翌月13日頃開催の総会で許可・不許可の決定となります。

※許可申請には確認事項、必要書類がありますので事前にご相談ください。
お問い合わせ先：山形市農業委員会事務局（電話 023-641-1212 内線 775・776）

編集後記

あけましておめでとうございます。

2022年の幕開けは、例年通り地元風間山神社の元旦祈願で始まる。

家内安全に交通安全、豊作祈願と祈願の数だけ鐘を鳴らすことにしている。昨年からは新型コロナウイルスの早期収束も加えた。

そんな中で、今年は様変わりしたところがある。山門の鳥居の前に、イノシシの防護柵設置に伴う門扉を設けた。赤色の山門に合わせて、門扉の枠も赤色にカラーリングした。

風間山や隣接する大岡山一帯の山麓に防護柵を設置したが、参道や登山道には多くの参拝者や登山者がおり、どうしても門扉を設けざるを得なかった。門扉を設けたことで、イノシシが侵入する経路にならなにか不安もあるが、開けたら必ず閉めることを徹底し、管理に努めていきたいと思う。

(編集委員 梅津 茂)

